

E5A 後志自動車道 余市IC～小樽JCTの整備効果

高次医療施設への救急搬送の迅速性向上に寄与

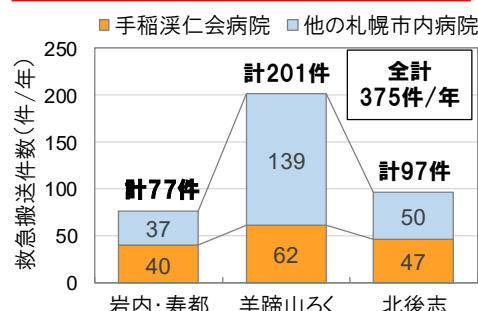
羊蹄山ろく地域等から札幌市への救急搬送時間が**約18分短縮**！
ラピッドレスポンスカー※の運用範囲が**後志地域の全域に拡大**！
初期医療の開始時間がさらに**約44分短縮**し、救命率が大きく向上！

北後志、羊蹄山ろく、岩内・寿都地域の救急搬送実態



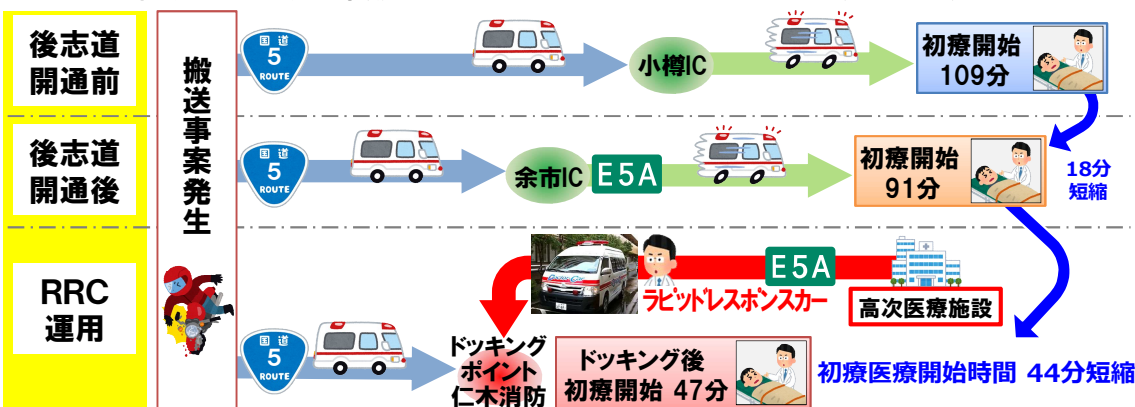
札幌市への救急搬送件数

北後志、羊蹄山ろく、岩内・寿都の
各消防本部の管内から
札幌市内病院への管外搬送を
年間375件(1日1件以上)実施
うち、約150件は
手稲溪仁会病院への搬送



資料：各消防本部 平成30年 救急搬送記録データ
(北海道開発局 小樽開発建設部調べ)

後志道開通後の救急搬送・ラピッドレスポンスカー(RRC)運用による救命率向上



消防組合の声

余市から手稲溪仁
会病院への転院搬
送では、必ず後志
道を利用しています。
片道約20分の時間
短縮は非常に大き
く、効果を感じてい
ます。

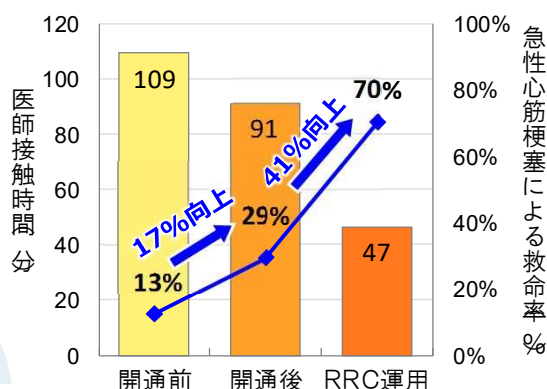
※ラピッドレスポンスカー(RRC)：医師が救急現場等に向かうための緊急自動車。救急現場またはドッキングポイント(救急現場からは救急車が患者を搬送)で救急車と合流し、医師が救急車に乗り込み、車内で迅速な救命処置を実施。RRCでは患者を搬送しない。

救急病院の声

後志道の開通を契機に、ラピッドレスポンスカーの運用範囲が後志地域の全域に拡大しました。雪が降ってドクターヘリが飛べない時などに活躍します。この冬も倶知安町などに出勤しています。



出典：ヒアリング調査
(令和元年11月、令和2年2月実施)



資料：
医師接触時間算出：
ETC2.0プローブデータ 12h平均旅行速度
(開通前：H30.4～9、開通後：H31.4～R1.9)
搬送元地点：倶知安町役場
搬送先地点：
後志道開通前および開通後：札幌手稲溪仁会病院
RRC運用：仁木消防署(ドッキングポイント)
救命率：「道路整備による救急医療改善効果」
(交通工学Vol.45 No.5 2010)
※重症度が中等症の急性心筋梗塞を対象